

今朝ハ御来照忝候得共、御不興之至奉存候、
俎今日御付紙之趣、意外之事ニ而邸内挙而

（三洲）

驚歎仕計ニ而、此上ハ 鍵之助様弥以御病
氣之被 仰立ニ而御謹慎被為在、素より

御願書も早々御願下ケ不被為在候而ハ、以之外
之儀ニ立至り可申と、内山初恐縮仕居申候
間、右之段猶東京表へ申向候義ニ御座候処、

弊藩より計申遣し候而も、どふで貫徹

も如何哉と懸念いたし候間、右之段其

（三洲健助形）

君公より茂鍵之助様へ被 仰上候而ハ何程ニ可有
之哉と咄合申候、然ルニ今日彼地へ差立候
義之急飛幸明日ニ差延候間、被差出置

御自翰一同右之儀も被 仰上度、去与ハ差
懸り候儀ニ付、甚不都合千万君公思召も

奉恐入候得共、御申上之振邸内ニ而議候趣取認
貴君迄差出誠申候、勿論一躰之所ハ

思召ニ御取捨御認被為在、明日午之時比迄
当方迄御遣被下度左候ハ、早速右急飛ニ

仕出可申と奉存候、返々茂失敬之義ハ幾重も
御宥恕可被成下候様宜御取繕可被下候、書余

拝趨ニ讓右要用計草々如是ニ御座候、
今晚ハ大分過酒仕居候、乱筆御叱咤

奉希候、以上、

（幸太郎）

十月十日

池田

（六太夫）

鈴木様